～にっこりたのしむ しっかりがんばる～

西の子だより

三重西小学校
学校通信
2025/9/26

全国学力・学習状況調査の結果について

４月１７日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が届きました。その結果をもとに三重西小学校６年生の学力や学習に関する状況について分析を行いました。

調査問題については「令和７年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について」（国立教育政策研究所）https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm をご参照ください。

※ ６年生の保護者の皆さんにおかれましては、１学期の個人懇談時にお渡しした「全国学力・学習状況調査の結果個票」を併せてご覧いただきますようお願いします。

【調査結果概要】

この調査の内容は、教科に関する調査（国語、算数）、児童の学習・生活習慣などに関する調査（児童質問紙）、学校の取組状況に関する調査（学校質問紙）です。

教科に関する調査

本校の平均正答率は、**国語と理科は全国平均を上回り、算数は下回る結果**となりました。

６年生の学力調査の「強み」と「弱み」について

【国語】

〔設問１の一〕【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する設問について、全国の正答率を上回っています。

☞「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり、関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうか」について、理解が定着していると言えます。

〔設問１の三(１)〕【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部アのように発言した目的として適切なものを選択する設問について、全国の正答率を上回っています。

☞「自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうか」について、理解が定着していると言えます。

三重西小学校ホームページ

〔設問３の二(２)〕【資料３】を読み、【木村さんのメモ】の空欄イに当てはまる内容として適切なものを選択する設問について、全国の正答率を下回っています。

☞「事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうか」について、課題が見られます。

【算数】

〔設問３の(４)〕１／２＋１／３を計算する設問について、全国の正答率を上回っています。

☞「異分母の分数の加法の計算をすることができるかどうか」について、理解が定着していると言えます。

〔設問３の(３)〕数直線上に示された数を分数で書く設問について、全国の正答率を下回っています。

☞「数直線上で、１の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうか」について課題が見られます。

〔設問４の(３)〕はかりが示された場面で、はかりの目盛りを読む設問について、全国の正答率を下回っています。

☞「はかりの目盛りを読むことができるかどうか」について課題が見られます。

【理科】

〔設問２の(４)〕乾電池２個のつなぎ方について、直列につなぎ、電磁石を強くできるものを選ぶ設問について、全国の正答率を上回っています。

☞「乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いているか」について、理解が定着していると言えます。

〔設問４の(３) カ〕海にある氷がとけることについて、水が氷に変わる温度を根拠に予想しているものを選ぶ設問について、全国の正答率を上回っています。

☞「水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができるかどうか」について、理解が定着していると言えます。

〔設問４の(２)エオ〕水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ設問について、全国の正答率を下回っています。

☞「水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解しているかどうか」について課題が見られます。

課題解消に向けた取り組み

【国語】

・「一つの資料からは考えることができるが、二つの資料を関連付けて考えることが弱い」「情報量が多いものから、必要な情報を抜き取る力が弱い」といった課題があるため、「思考ツールを使って、自

分の考えをもち、まとめることを普段の授業に取り入れる」「複数の資料から読み取る問題に取り組む機会を増やす」ように、授業改善に取り組みます。

・「条件に合わせて解答すること」「メモの書き方」に課題があるため、「条件を付けて文章をまとめる機会を増やす」「文章から根拠を見つけ、考える力をつける発問を意識する」ことに取り組みます。

【算数】

・課題をいろいろな角度から見て考えること（特に図形問題）に課題が見られるため、多様な見方や考え方をする機会をつくり、一つの考え方だけでなく、他の方法を考えたり友だちの方法を共有したりして、思考の幅を広げる授業づくりに取り組みます。

・問題の条件をよく理解せず、イメージや経験則で考えてしまう傾向があるため、解答に必要な条件を文章や図から見つける機会を意図的に保障し、考える力をつける指導に取り組みます。

【理科】

・国語、算数と同様に、複数の資料をもとにして、情報を選択することに課題があるため、実験結果等の事実から読み取る力をつけ、複数の情報を提示し、必要な情報を選択する活動を取り入れる授業づくりに取り組みます。

続いて、「全国学力・学習状況調査」の児童質問紙の結果分析をお伝えします。

児童質問紙の調査結果

質問に対する本校児童の肯定的回答（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）の割合を全国の回答割合と比較したところ、以下のような特徴が見られました。

【全国よりも肯定的回答の割合が高かった質問】

〔質問２８〕５年生までに受けた授業で、ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、どのくらい使用していますか。

☞「ほぼ毎日使用している」と回答した割合は、全国より約3割も高い結果でした。本校は、１人１タブレットのGIGAスクール構想の取り組みが始まって以来、ICT機器を適切に授業で使用してきました。教職員も子どもたちもタブレットを使用することが日常となっています。今後もICT機器とともに、黒板・ノート等を併用し、より学習効果が高い方法を選択しながら授業づくりを進めていきたいと思います。

〔質問６４〕将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか。

☞この質問の肯定的回答の割合も、全国より3割近く高い結果でした。他の理科に関する質問についても、肯定的回答の割合が高く、全国を上回るものが多数ありました。保護者の方、いきいきサロンやしろやま倶楽部といった地域の皆さんから、自然環境活動を経験する機会をいただいているおかげです。また、6年生は3年生の時から、理科を専科が担当しており、専門的な指導が理科学習への興味・関心を高められた、と考えています。

【全国よりも肯定的回答の割合が低かった質問】

〔質問３〕毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

☞全国よりも肯定的回答が１割程度低い回答状況でした。６年生は遅刻することが少なく、意外に感じる結果でしたが、生活リズムが一定でない子どもたちが少なからずいる状況があるようです。様々な事情があると理解しつつ、子どもたちの健康を促進するために、規則正しい生活を適宜呼び掛けていきますので、ご家庭でもご留意いただきますようお願いします。

〔質問２４〕読書は好きですか

☞読書が好きな割合と普段１０分以上の読書をする割合は、全国より低い値でした。学校では「図書館まつり」などの取り組みを進め、読書の楽しさを感じられるようにしていきたいと思います。ご家庭におかれましても、子どもたちが読書に触れる機会を作っていただけるとありがたいと思います。